

月に一度はムラ暮らし 《しごと塾さいはら》

《フィールド》山梨県上野原市西原（さいはら）地区

《大切にしていること》

- ・ 地域の手しごとを **まなぶ**・**つたえる**・**手伝う**
- ・ 「ただいまぁ」といえる場づくり
- ・ 季節の手しごとを「西原」でおこなう



《しごと塾さいはらの毎月のしごと》

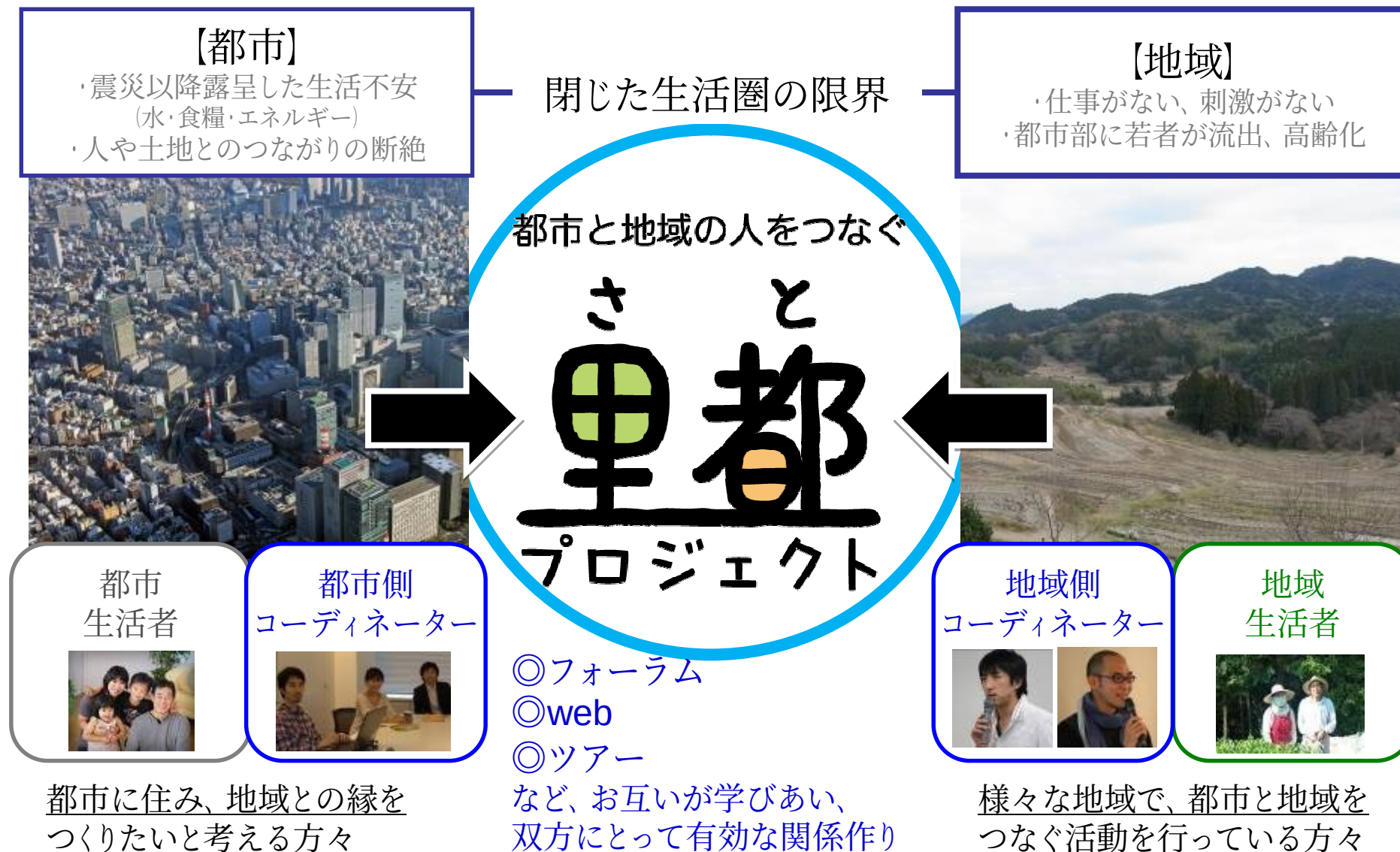
- ①秋そばづくり … そばの種まき～そば打ちまで
- ②地大豆 … 豆腐づくり、みそづくり
- ③地ジャガイモ … せいだのたまじ
- ④ヨモギ・雑穀まんじゅうづくり
- ⑤坪山ハイキングと赤シソおにぎり →次回 5月5日(土)
- ⑥山菜・たけのこ採り →次回 5月6日(日)
- ⑦お茶摘み →次回 6月9日(土)-10日(日)
- ⑧お祭り参加

《お問合せ》

しごと塾さいはら(塩島)
yuiko.shiojima@gmail.com



里都 (さと) プロジェクトとは、「都市」と「地域」の人をつなぎなおすプロジェクト
多様な関係性の中で、地に足をつけ丁寧に生きている人たちから、生き方や考え方、取り組んでいる活動を学び、持続可能で幸せな生き方を実践できるようにする。



現地視察



実践者の活動紹介



都市と地域の人をつなぐ

さと
里都
プロジェクト

参加者同士の対話の場



オフィシャルサイト
satopro.jp

コミュニティページ
Facebook

Webを使った情報共有と交流の場



＝えんちゃん農場＝

★農場経営上のポイント

1.都市内有機農場

無化学肥料・無農薬+石油化学製品の使用をできる限り抑える、で、年間80品目程度の多品種少量栽培をめざす。

- ・都市に住まう人たちがほど農薬や添加物に敏感
- ・住まいや職場の近くの畑だからこそ「農薬は使って欲しくない」
- ・週末や休日に、住まいの近くでレジャー感覚で畑作業をしてもよい場を提供

2.都市型農耕生活

多くの人々が産業活動を行う都市のなかで「農耕生活」を無理や我慢をすることなく営む。

- ・畑でできたものを穫って食べていた時間(時代)の方が、現代産業社会よりもずっと長い
- ・農村や農家に代々伝えられてきた伝統的な食(文化)の発掘や継承
- ・畑、たんぼのなかで考えるLOHAS。または「お隣さん、農民なんだから！」



アーバンパーソン・ビジネスパーソンを千葉県匝瑳(そうさ)市へ テーマ“自給”

■これまで

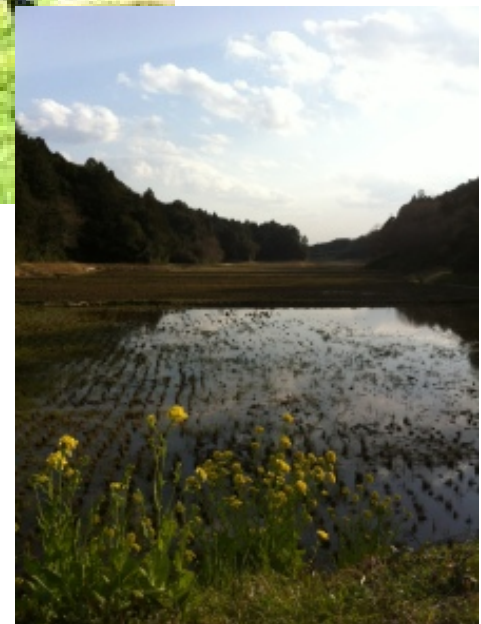
- お米・大豆の自給
(’08年 300m²/3人
→’12年 8000m²/100人)
- 古民家再生
- 地元の方との交流
(里山活動)
- my田畑(でんばた)
- 移住斡旋(’12現在 6名)

■これから

- 電気の自給
- 小さな家のセルフビルド
- スモールビジネス創出
- ワークショップ



SOSA Project





自分は世界を変えることができる
と考えるほど
十分にクレイジーな人たちが
ほんとうに世界を変えるのだ

The people who are crazy enough to think
they can change the world,
are the ones who do. (AppleManifestoより)

NPO法人CRAZYWORKS

www.facebook.com/crazyworks
<http://d.hatena.ne.jp/crazyworks/>

体験から智慧を学ぶ 野良体験



動物と協働する
野良作業
田畑・建築ほか

焚火と狩猟から 学ぶシリーズ

狩猟、山菜とり、
きのこ狩り、溪流
釣りなど、自分の
手で食を得る



原点から 生き方を 創る

原始的調理法 シリーズ



鍋やガスコンロ
などを使わずに、
自然にあるものを
つかって調理する

これからの暮らしを つくり語るシリーズ

おカネ、働き方、
モノづくり、仲間づくり...

